

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員：専任 (1) 名 兼任 (2) 名 (室長；兼任、GRM；専任・兼任) ・ 活動の主な内容： ① インシデントレポート等の集計と分析、現場への必要な情報の周知 ② 各リスクマネージャーとの連絡調整 ③ 各部署及び職員に対する指導・助言 ④ 院内巡視による安全点検と指導 ⑤ 安全管理に関する教育・研修の企画・立案・運営 ⑥ 安全相談窓口に関すること ⑦ 安全管理に関する診療ガイドライン等の作成への参画	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： ① 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方 ② 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ③ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ⑤ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ⑦ 患者からの相談への対応に関する基本方針 ⑧ その他医療安全の推進の為に必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： ① 安全管理の対策及び教育に関すること ② 医療事故の判定に関すること ③ リスクマネジメント・マニュアルに関すること ④ 医療事故が発生したときにおける事実確認・措置及び対策に関すること ⑤ 医事紛争が生じたときの拡大防止策に関すること ⑥ 訴訟が提起されたときの対策に関すること ⑦ その他安全管理、医療事故、医事紛争及び訴訟に関する重要事項	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回 (全体研修)
・ 研修の主な内容： ① NSTの効果と重要性～栄養のリスク管理～ ② メディケーションエラー防止に必要な視点～アナタとワタシのちょっとしたズレ～ ③ 日常診療でエイズを見逃さないために ④ チェックリスト ⑤ 血液製剤の適正使用について ⑥ 医療機器安全のために医療スタッフが考えておくべき事	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① インシデントに関する対策事項の提出 ② 病院管理者による院内巡視を行い、直接的に指導・確認をする ③ RM連絡会議・安全ニュース等で情報の共有を図る	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊦・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染対策に関する基本的考え方 ② 院内感染対策委員会その他の医療機関内の組織に関する基本的事項 ③ 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 ④ 感染症の発生状況の報告に関する基本的事項 ⑤ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ⑦ その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染対策に関し、予算、施設、設備など重要な事項に関する事項の審議 ② 院内感染に対するマニュアルの作成などに関する事項の審議 ③ 院内感染対策についての周知徹底や啓発に関する事項の審議 ④ 院内感染が判明した場合の報告とその対応に関する事項の審議 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回（全体研修）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① HIV診療拠点病院研修「日常診療でHIVを見逃さないために」 ② HIV診療拠点病院研修「HIV陽性者が語るありのままに生きられること」 ③ 当院の針刺し状況と針刺し時の対応について ④ 知っていますか？感染対策の常識・非常識 見直そう、感染防止の基本手技 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （㊦・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策室員によるラウンドを定期的に行い、直接的な確認と指導を行う。 ② 感染対策リンクナース委員会および感染対策実務者会議、ICTニュースなどで情報の共有を図る。 ③ 院内感染発生報告書の提出 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：平成20年度から実施する予定で、第1回目は、平成20年11月20日（木）に「医薬品安全管理に必要な医療廃棄物の知識」の演題で実施し、年度内にもう1回行う予定をしている。 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有・無) 業務の主な内容：手順書を院内各部署に配置している。日常的には各部署の責任者が手順書に基づいて業務が行われているかをチェックする。定期的に、安全管理の責任者が巡回し、手順書に基づく業務が実施されているかを確認する。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) その他の改善のための方策の主な内容：薬剤部の医薬品情報室で情報を収集・整備を行っている。広報すべき情報は、院内処方オーダーシステムの処方オーダー画面の開始画面に表示している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 23 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器の基礎安全管理 ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ ・ 人工呼吸器 ・ 除細動器 ・ 体外循環関連 ・ 保育器 ・ 血液浄化装置 ・ 放射線機器関連 ・ 心電計・ペースメーカー 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>22品目のME機器（498台）の定期点検を行っている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>業者、学会、院内、PMDAなどから集められた不具合情報やインシデントを院内のME新聞で各部に流すと同時に、医療機器安全管理専門委員会で報告し、再教育している。</p>	